

安全管理委員会 年度報告

法人外部から、苦情解決第三者委員である島根大学の京先生、黒田先生と利用者ご家族2名をお迎えし、今年度も安全管理委員会を開催しました。安全管理はもとより、支援水準の向上を図るという意味では大きな成果がありました。一方で、ご家族の目を通して事業の妥当性や透明性を維持、向上していく取り組みでもあり意義を感じています。

昨年度の開催状況は下記の通りです。今後も取り組みを継続し、支援力を高め、利用者のみなさんの笑顔がより多く見られるようなサービスの提供に努めていきたいと考えています。

開催状況(拡大・臨時)

開催月	会議区分	内容
5月	拡大	前年度各委員会、諸会議報告について 今年度各委員会、諸会議計画について
6月	臨時	利用者の他利用者への他傷行為による事故についての緊急対策の検討
9月	拡大	原子力災害にかかる避難計画の検討 各委員会、諸会議定例報告
2月	拡大	権利擁護体制の整備についての検討 各委員会、諸会議定例報告



Leaving
Care News
2014.6.20 No.121



〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 ワークセンターフレンド
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
共同生活援助・介護事業所
居宅介護等事業所千鳥福祉ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスばすてるばすてるびいす
URL <http://www.9.ocn.ne.jp/~chidori/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



みなさんで作る夏祭り、始めよう...



原子力災害に備えた 避難計画について

千鳥福祉会 神田 弘治

photo by Qurren

東日本大震災から3年経った今でも、放射性物質という見えない恐怖に怯えながら長期間生活し続ける東北地方の苦悩の日々を想像するところです。島根原発でも、原発の再稼働に関係なく、すでに核燃料が存在している以上、原子力災害を起こるものと想定した対策が急がれます。

島根県は24年11月に策定した原子力災害に伴う『島根県広域避難計画』に合わせ、福祉事業所にも避難計画策定を必須と示しており、当法人もガイドラインに沿った計画作成を始めた所です。

県の避難計画では、原発に近いPAZ(半径5km圏内)住民の避難を優先的に、UPZ(半径5km~30km圏域)住民は、屋内退避を行う。交通麻痺を避ける指示に従い、順次避難していくという基本的方針を示しています。また、避難ルートと避難場所を原発から扇状に分散するイメージで定めてあります。社会福祉施設入所利用者は、『災害時要援護者』として位置づけられ、持田地区住民が避難する避難所エリア内(千鳥福祉会は、岡山県倉敷市内水島緑地福田公園)にある。環境の整った『広域福祉避難所』へ避難する事になります。この広域福祉避難所での生活が長期化するようである場合、そこからそれぞれの方の新たな生活環境(入所施設等)を探すという2次避難活動に入る事になるわけです。県は、福祉事業所向けの避難計画ガイドラインも入所者用のみを示していますが、通所系事業所利用者は、災害発生後の注意喚起段階で家族の迎え入れや自宅まで保護

者のもとに引き渡す事を前提に行動を起こすべきと読み取るところであります。通所利用者(自宅)に引き渡せない状況になった場合は、千鳥福祉会が避難する広域福祉避難所へ。家族は在宅地区の定められた避難場所へ避難する事になり、在宅エリアによっては大幅に違ったエリアに家族が避難する事になります。

現段階では、県の避難計画やシミュレーションが現実的で実効性があるものと断定はできませんが、災害・事故の規模、発生時間、気象環境、緊急時の人員召集率や体制整備、指定避難先の受け入れ準備について経過的に整えていくとしています。また、松江市も、『松江市原子力災害広域避難計画』をこの3月に発表し、同様の状態です。

福祉事業所の緊急時対策・体制、設備整備も少しずつ具体的に整備していかねばなりません。そして、ご家族に避難や情報伝達の計画をお知らせし、訓練等実施していけるよう進めていきたいと思っています。

千鳥福祉会は、島根原発から半径10km内に位置している為、国の原子力対策設備整備事業(逃げ遅れた方が放射性物質を浴びず、一時的に施設内で生活して行く為の設備工事が対象)補助金を頂き、施設内の気密性の確保、非常用電源装置・放射性物質除去フィルター装置工事などを今年度実施することになりました。今後、ハード面ソフト面も少しずつ整え、災害時に実効性が伴うものに少しずつしていきたいと思っています。

車椅子をご寄贈いただきました。



島根県建築組合連合会様から車椅子をご寄贈いただきました。僅か0.5gのプルタブを800kgを集めるのに5年を要したとの事。沢山の方々の志、5年分を添えた第1号です。ありがとうございました。

苦情受付解決への取り組み報告
(H26年1月以降~5月末現在)

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。今後も真摯に対応していきたいと考えていますので、お気軽なお申し付けください。

●持田寮
■外出支援時における職員の車内での喫煙について事実確認をしたい。事実であれば改善して欲しい(ご家族から)

7月20日(日)
サマーフェスタ
いよいよ開催!

今年のテーマは「つながろう...」
楽しむ、参加する、お手伝いする。
その全てが繋がって祭は完成します。
多くのご参加お待ちしております。

フリマの商品大募集!

フリママーケットは人気のコーナー!食器類・雑貨類などご家庭で眠っている商品をご提供ください。
7月16日までに千鳥福祉会にご持参いただければ幸いです。

※フリマの収益金は、震災復興及び千鳥福祉会に寄付されます。

東日本大震災復興支援・第13回千鳥福祉会
サマーフェスタ
2014
2014.7.20(日)
午後4時~午後8時30分
つなごう...
今年(会場) 持田寮・L.C.C.ういんぐ
(施設・体育館) 松江市東持田町1415
Special Guest
遊吟
千鳥福祉会のオーランエンヤ
倉内たい子
会場ご案内
フリママーケット
1,000円
(50円券×22枚限り)
●お問合せ 千鳥福祉会2014サマーフェスタ実行委員会
TEL (0852) 24-8820
主催/千鳥福祉会・千鳥福祉会利用組合
共催/千鳥ニュータウン子会会・千鳥福祉会関係施設家族会・千鳥福祉会後援会
後援/持田地区自治会連合会・持田地区社会福祉協議会

想いを分かち合い、受け止める心。

想いをキャッチボールすると、新しい出来事が生まれる。私たちの源。

サイクルを 途切れなく回して…

施設外就労として、近くの宿舎の
清掃に出かけています。



多機能事業所 L.C.C.ういんぐ管理者 福庭紳介
L.C.C.ういんぐは、新しい職員体制でこの6月1日より再スタートを切りました。いろいろとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、いままでも同様変わらないご支援をいただければと思います。

私も今後お客様を第一にそして中心に考え、日々の業務にあたっていきたく強く考えます。そのためにも一層職員の力量を高め、組織として健全な有り方を追い求め、皆様にとってより安心感と満足感のある事業所になっていきたいと思います。

「変化」は少しずつかもしれませんが、皆さまからの声をていねいに汲み、よりよくなる為のサイクルを途切れなく回していければ……。よろしくお願いたします。

100%課題達成を 目指して…

相談事業所ひまわり
管理者 竹内淳子

日頃より皆様には大変お世話になり感謝致します。
ひまわりでは今年度、「計画相談」を速やかに処理するために相談支援専門員2名体制から事務等の補助をお願いする職員が2名追加になりました。そして平均年齢もグッと若返り職員の士気も高まっています。
今後は、平成27年3月までの100%課題達成に向かい「障がいのある方が安心して自立出来るよう、きめ細かい相談支援を行う事業所」を目指し、お一人お一人に信頼していただけるよう一層の努力をしてまいりますので協力をお願いします。

ひとつの願いを 叶える……

居宅介護等事業所ケアセンター大空
管理者 原 繁雄

ケアセンター大空は今年で12年目を迎えました。
近年、法制度の改正に伴い制度運用上の様々な制約を受け、事業所だけでなく、サービスご利用者やそのご家族もその変化への対応を強いられています。
居宅介護等事業は、在宅の利用者の方々安心して地域で暮らせ、必要な時に必要なサービスが受けられるという点に大きな意味があり、当事業所としても、その点を踏まえ、サービス提供責任者を中心とした体制を軸に、サービスの質の向上と利用者満足度の向上に努力しています。
今年も個別支援のサービスを提供できる事業所として、一人ひとりの願いが一つでも叶えられるよう誠心誠意努めて参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

「朝陽」1周年の笑顔

ケアホーム朝陽 生活支援員 井上 佐代子

ケアホーム朝陽の創設から1年が経過しました。数名の異動や、他ホームからの緊急ステイの受け入れ、ボランティアの方のコンサート、どんぐり会開催など、刺激を受けながらの1年でした。これからもこの笑顔が続きますように……

スポーツにも 積極的に チャレンジ!



L.C.C.ういんぐ 足立真一

6月14日に出雲ドームで第15回鳥取県障害者スポーツ大会があり、千鳥福祉会からは13名が参加しました。種目はフライングディスクのアクチャー(輪の中に10投中何投入るか)とディスタンス(投げた距離を競う)。皆さん頑張られ、個人成績も上位の方が多く、団体では知的の部で1位でした。来年も参加して頑張りたいと思います。

ホーランエンヤ ただ今奮闘中!

ワークセンターフレンド
管理者 松浦 和志

今年度も始まり2ヶ月が過ぎました。B型事業の柱となるクリーニング業務は、外部からオペレーターを招き作業効率化、経費削減対策の見直しに向け動き出し工賃向上を目指しているところです。就労支援において、前年度は3名の方が就労に就きました。
今年度は、現在トライアル雇用で1名の方が就労を目指しております。事業を進める中で、千鳥福祉会の恒例行事、「サマーフェスタ2014〜つながろう」のオープニングで披露する「千鳥福祉会ホーランエンヤ」は、毎週火曜日、木曜日に大井町有志の方のご指導のもと練習しているところです。今年はフレンド利用者の方が8名参加しておられ一段と活気溢れる中、一体感、勇敢さを本番に出せるように頑張っています。是非、見に来てください。

千鳥福祉会大運動会

運動会実行委員長 人見 恵一

6月1日の日曜日に恒例の千鳥福祉会運動会を開催いたしました。毎年この時期は梅雨前という事もあり、常にお天気を気にしながらの開催ですが、今年は数日前から晴れがほぼ確定しており、事前準備も含め雨を気にする事無く当日を迎えることが出来ました。むしろお天気が良すぎて、冷たいおしほりなどの用意をさせて頂いたほどです。予想した通り夏を思わせるような天気の下、にぎやかに開会式が始まり利用者代表の皆様堂々とした選手宣誓で運動会が始まりました。競技は二人三脚から始まり、新種目の「ロボットを作ろう」も好評!綱引きあたりからは皆さんかなり熱気を帯びてこれ、勝った負けたと一喜一憂されたいへん盛り上がったと思います。最終種目の「お菓子釣り競争」では平成ニュータウンの子供会様からもご参加いただき、盛況の内に幕を閉じることが出来ました。毎年感じる事ですが、こうして楽しい運動会が催せるのも、地域の皆様やボランティア様、ご家族様のご理解とご協力あってこそと思えば幸いです。本当にありがとうございました。心より感謝いたします。



自主性を基本にした集団生活。

放課後等デイサービス事業所
ばすてるばすてるびいす 主任 山崎雅子

放課後等デイサービスもおかげさまで3年目を迎えました。千鳥福祉会の敷地内でスタートしましたが、次の年に近隣の地域へ事業所を移転し、広いフロアでしっかりと身体を動かす活動ができるようになりました。そして、定員を増やし平成26年4月からばすてるの2階を利用し、新たに「ばすてるびいす」を開設しました。
1階は小学1年生から5年生までが対象です。たくさん身体を動かしたい方が多い学齢ですから、集団活動の中で遊び、学び、楽しむ…そして職員も一緒に共感させて頂いています。また、他校との交流の場として利用して頂き「ばすてる友達」の輪が広がっています。
2階は小学6年生から高等部3年生までが対象です。将来社会の一員になれることを視野に、自主性を大切にしながらも集団活動を行いまにいられた際に少しでも活動内容がお役に立てればと考えます。開所後から1年ごとに変化があり、ご負担とご心配をお掛け致しましたが、安心して来て頂け、満足して帰って頂ける事業所となるよう、職員一同一生懸命努めてまいりますので宜しくお願い致します。

作ることの楽しみ、広がる達成感。

持田寮 栄養士 小川久美子

持田寮では月に2回、休日の余暇活動でおやつ作りをしています。春には桜餅、冬はぜんざい等季節を感じられるものを、またがっつりとラーメン等も作ります。おやつ作りの日は利用者さんも朝からワクワク「今日は何作る?」「何時からいね?」と心待ちにされています。材料を入れる、混ぜる、ひっくり返す、トッピングする。普段動かない方もおやつ作りには積極的に参加し本領発揮され、意外な一面が発見できる嬉しい場です。また、眺めて出来上がりは様々ですが、一緒に一つのことをする空間・食堂は毎回賑やかで、「やった〜!」「わ〜美味しそう〜!!」と手を叩いて喜ばれる姿は達成感に満ち溢れています。人気メニューは焼きそば、お好み焼き!おかわりには行列ができるほど皆さんペロッと食べられます。
時間やできる作業に限りがあり、メニューの幅が広がらない課題はありますが、利用者さんができる工程を増やし、楽しく参加して頂けるよう努力し、おやつ作りがもっともっと楽しみなものと思っていただけると嬉しいです。